

団 長 会 記 録

1 開催日時 令和7年6月18日（水） 10:59 ～ 11:13

2 開催場所 新庁舎8階 議会中会議室

3 出席者

(1) 出席議員

議長 長田進治、副議長 谷口かずふみ、自民団長 高橋栄一郎、立民団長 青山圭一、
未来団長 京島けいこ、公明団長 西村くニコ、維新団長 さとう知一、
県政団長 小川久仁子

(2) 議会局出席者

局長 落合嘉朗、副局長兼総務課長 山田修、管理担当課長兼総務課副課長 望月俊哉、
経理課長 奥澤陽一、議事課長 山崎智之、政策調査課長 佐藤恭子

4 議 題

(1) 議会友好代表団の派遣について（資料1－1、1－2）

議長より、ドイツ連邦共和国バーデン・ビュルテンベルク州と本県との友好提携を記念し、議会友好代表団を派遣することにより、両県州の友好と信頼を深め、今後のより一層の交流の推進を図るとともに、同州内における先進施策等の調査を行うため、議会友好代表団を派遣したい旨の発言があり、議会局から、派遣の概要及び各会派の割り振りについて、資料1－1、1－2により次のとおり説明があった。

- ・ 11月9日（日）から14日（金）までの6日間以内の日程で調整すること
- ・ ドイツ連邦共和国バーデン・ビュルテンベルク州ほかの訪問を行うこと
- ・ 会派別の割り振りについては、自民3、立民1、未来1、維新1、県政1となること

協議した結果、議会友好代表団の派遣については、案のとおり進めることと決定した。

また、6月23日（月）までに、参加議員を議会局まで報告するよう依頼があった。

議長から、次のとおり発言があった。

- ・ 中東情勢が極めて緊迫化している、そういった状況だからこそ、諸外国との連携を大事にするべきと考える。
- ・ 今回議会友好代表団の派遣先としているドイツ連邦共和国は、自動車産業のメッカであり、現下の神奈川県内には日産自動車の問題があることから、視察は有効なものであると考える。
- ・ しかしながら、国際情勢が緊迫化しているため、今後の動向を注視していく

必要があると考える。

(2) 女性議員研究交流大会について（資料２）

まず、議会局から資料２により、女性議員研究交流大会の概要についての説明があった。

その後、議長から、本県議会の参加方法は、対面とオンライン配信のハイブリッド方式で参加したい旨の発言があり、了承された。

各会派所属議員に周知いただき、参加希望がある場合は、６月２４日（火）までに申出願いたい旨と、対面での参加については、派遣について６月２６日に議決を願うこととなる旨の発言があった。

(3) 青い羽根募金活動について（資料３）

議会局から資料３により、次のとおり説明があった。

- ・ ＮＰＯ法人神奈川県水難救済会から、「青い羽根募金」について協力依頼があった。
- ・ ６月３０日（月）から、正副議長応接及び各交渉会派控室に募金箱を設置したい。

議長から、「青い羽根募金」について、協力することにしたい旨の発言及び第２回定例会最終日の本会議には、青い羽根をつけて出席願いたい旨の依頼があった。

以上